

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名	一次予防対象者(一般高齢者)運動機能向上トレーニング事業(貯筋教室)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名	内田秀一郎						
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加		所属課	高齢者支援課	担当者名	坂井晴代						
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実		所属班	包括支援センター班	(内線)	2151						
予算科目	会計	介護	款	11	項	1	目	2	事業連番	10455	法令根拠	介護保険法第115条の45	成果優先度評価結果	
	終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成18年度の介護保険法改正により、地域包括支援センターで行う事業として開始。高齢化率、要介護認定率も着実に上昇しており、介護予防の知識を見につけ、実践できるよう一次予防対象者(一般高齢者)を対象として、週1回3ヶ月の通所により運動機能向上に加え栄養改善、口腔機能向上、認知・うつ・閉じこもり予防事業を行う。平成23年度から、65歳の介護保険制度説明会時や、サロンがない地域に対しても介護予防教室を実施する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①対象者の要件決定②広報による公募③申込み希望者への事業説明会④申込み⑤運動指導の委託契約⑥トレーニングの開始⑦事業評価⑧サロンがない地域への働きかけ
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	教室受講者からは、「継続して実施してほしい」「期間限定でなく長く参加したい」「自費になってもよいので送迎を行ってほしい」との要望あり。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
一次予防対象者(一般高齢者)施策を二次予防対象者(特定高齢者)事業と内容と同じにして、通所型サービスとして行う。	22年度と同様だが、「介護予防普及啓発事業」に名称を変更する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 事業に参加する一般高齢者数	人 転倒骨折予防事業と統合による増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
一次予防対象者(一般高齢者)	(単位) ア 介護認定を受けていない高齢者の割合 %
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
運動習慣を日常から定着させ、QOL(生活の質)を高めることにより介護状態となることを予防する。	(単位) ア 基本チェックリストの結果生活機能が維持改善した高齢者数 人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 高齢者が健康を維持することで予防に寄与し、介護給付費や医療費削減に繋がるため。	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア	人	19	62	60	82	65	70	70	
	イ									
②対象指標	ア	%	83.8	82.5	85	82	85	85	85	
	イ									
③成果指標	ア	人	11	31	25	36	25	30	30	
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円	197	333	641	886	1,092	1,092	1,092
		都道府県支出金	千円	99	166	321	443	546	546	546
		地方債	千円							
		その他	千円	395	665	1,282	444	2,184	2,184	2,184
		繰入金	千円	99	166	321	443			
		一般財源	千円					545	545	545
人件費	(A)事業費計	千円	790	1,330	2,565	2,216	4,367	4,367	4,367	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	400	441	437	1,071	453	453	453	
総計	千円	1,190	1,771	3,002	3,287	4,820	4,820	4,820		

総トータルコスト
全体計画
~
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	一次予防対象者（一般高齢者）運動機能向上トレーニング事業（貯筋教室）	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	------------------------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（SEE）
 ＊原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 3ヶ月1クールとして週1回実施することで、高齢者の健康維持、憩いの場として精神面での安定も図れた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 通年実施しており、目標達成は可能と思われる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 教室終了時点での状態は改善するが、継続しなければ状態は悪化するので、教室卒業後の参加者同士での継続実施とフォローが必要。今後指導者やサポーターを養成することにより、各地域でも実施ができる体制の構築を図っていくことも必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 高齢者の生活機能低下を予防することで、介護給付費や医療費の削減が見込まれる。参加者が多くなればなるほど事業費は増えるが、今後高齢化の進展とともに社会保障費の増大が懸念される現状にあって、いかに給付を減らすことができるかが大切。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業は委託しており、最低限の職員で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 教室開催は広報誌により募集しており公平である。また、参加者には保険料、教材実費、施設使用料として負担してもらっているので公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 専門業者に委託しており、安定したサービス提供が行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ＊事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

利用者の満足度も事業効果も高い。周知を図り新規利用者を増やしていきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 転倒骨折予防のための対象者の選定、教室内容の見直しが必要である。	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 講座開催希望地区が限定されており、他地区への周知、教室開催が必要と思われる。身体の状態維持のため教室終了後の継続実施及びフォローも必要と思われる。																						